W

平成28年7月号

【昭寿園祭】

平成28年6月23日 第44回 開園祭



流紀代佳会」の日 本舞踊と「竹踊り 保存会」の竹踊り をご披露いただき ました。

当デイセンターか らのお付き合い、 又職員の親御さん

関係の慰問で、会場も打ち解けた雰 囲気となりました。懐かしき昭和時 代を彷彿させ、盛り上がり度100%で した。有難うございました。



【ユニットワーク】



「開園祭の飾りつけを一緒にしましょう」と入居者様へ呼びか け、約2週間の制作期間を経て、手作り感あふれる質感と色合 いに出来上がり「大変楽しかった。」との○さんの感想でした。

【お出かけ】

お出かけ日和のある日、酒 谷に足を延ばしました。

ちょうど、宮崎日日新聞の 取材を受け、5月8日(日曜) 日南・串間ミニみに版で紹 介されました。

「青空に気持ちよさそう。日南市の昭寿園入居者ら5人が日南 ダムのこいのぼり鑑賞。」

【野外食】



ユニット毎に入居者様のご要望を伺い企画。当園の庭で野外食 を実施しました。遠くに海を望め、緑一色の芝生の中、手作り 弁当に舌鼓の1日でした。



【食事サービス】

【6月行事食の献立 10品】



|巻きずし|~昆布だしと酒を隠し味にご飯を炊き上げ、寿司桶に 移し、合わせ酢をむらなくかけ、和食職人の「シャ リ切り」の技をいかんなく発揮して仕上げました。

いなりすし~お粥食の方にも、寿司風味が味わえるように、分 量を違わせてお粥寿司にして提供しました。

幽庵焼~柔らか仕上げの蒸し焼きにして、焼き目にも気を配り ました。

炊き合わせ〜第一に「季節感」と、相性・色彩・食感をコンセ プトにして、若鶏、ナス、人参、絹さやなどを食 材に選び、薄味仕立てが好評を得ました。

|えびカツ||~入居者好みの素材を選びました。

パンプキンサラダー南瓜とじゃが芋を程よくミックスし、なめ らかで口当たりの良い味付となりました。

|生姜の甘酢漬け||~「寿司にはガリ」

マスクメロン~糖度15度の肥後グリーンは特別な味でした。

和菓子・夏金魚~西瓜に見立てた色合いにしました。

|りんごジュース|~100%濃厚果汁、ビタミン満点。

【ユニット便り】

サンヒルズ4F【すみれ・さくら】



【コスモス畑見学】 2015.11.11

車移動で園下のコス モス畑に遊びに行き ました。

「こんとはピンク」 「赤紫やな」と綺麗 に咲いたコスモスに 触れ笑顔いっぱいで した。



【帰郷】 2015.11.25

「私は酒谷の桜馬場よ、あんたもいつか連れてかないかんな、一緒に行こや」



【買い物】2016.5.25

ユニット内では、「今ま者に 「の何を利このは、 しま者にとめる。 はようにんがもと、 はよりまでに が大変がありました。



【総合防災訓練】

平成28年5月15日(日)

和地々の総をに、民防を災し、民防を災した。

「消防署への自動通報が機



能したか?」「入居者様一人ひとり安全かつ速やかに想定通り 避難誘導できたか?」「初期火災消化活動ができたか?」「消 防団の消化活動の様子を実感できたか?」等の確認を職員間で 共有しました。



今回の訓練の 課題等を踏ち え、今後も防 災訓練を行い たいと思い す。



平成27年9月から葛飾北斎の復刻版「富嶽三十六景」を月に複数の作品を取寄せ始め、全ユニットに1枚ずつ掲示しました。 今回は利用者に好きな作品を選んでもらい、購入しました。 一部を紹介します。ご来園の折ぜひご鑑賞下さい。

「富嶽三十六景」 絵師/葛飾北斎

【甲州三島越】



この絵で北斎は、白然がいかに大きく、人間がいかに小さいか という自然尊崇の哲学を表現しているように見えます。 三人の人間が取り巻いてもまだ手が廻らない巨大な木の有様は、 まさに自然の尊大さを表現。

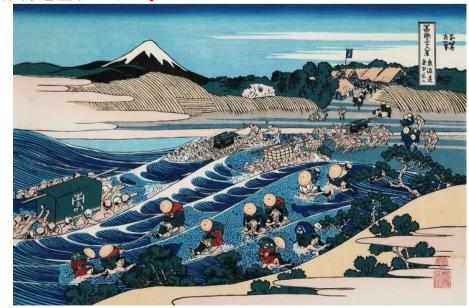
【尾州不二見原】



奇抜な構図によって世界的に有名な作品です。中央に大きな 桶の円があり、そのなかに現在の名古屋の地から見える富士山 が小さく見えるという面白い構図です。

本作品は「桶屋の富士」とも呼ばれています。

【東海道金谷の不二】



金谷は東海道の大井川の島田宿と称した宿になります。 奥に富士山が尊大に構え、自然の厳しさと雄大さを表現した一枚になっています。